

国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都港区新橋5-15-5
交通ビル4階

発行責任者 長岡正之
編集責任者 渡邊和久

労働法制・憲法改悪を阻止しよう

全国各地で第89回メーデー開かれる

今年も5月1日にメーデーが全国各地で開催されました。名古屋地本と静岡地本の取り組みについて掲載します。なお、日比谷メーデーに新幹線地本から31人が参加しました。



愛知県中央メーデーでデモに出発する名古屋地本の仲間(写真上) 日比谷メーデー(写真下)

2800人、国労の旗の下へ30人が参加しました。主催者代表として、樽松愛労働議長が「野党と市民が共闘して、安倍政権を退陣に追い込もう」と訴えました。会場からのデモ行進は2コースの内の若宮コースの先頭を国労が任せられました。スローガンのたれ幕を持ち、街宣車からは愛知県支部の松井執行委員の力強いシュプレヒコールを受け、市

内繁華街を「安倍9条改悪反対!」 「過労死を促進する安倍働き方

国労でともに歩もう 職場で積極的に声をかけよう

三島駅北口にて研修センターから帰宅する新入社員に対し宣伝行動を4月13日と20日に行いました。「研修お疲れ様!」「足元に気を付けて!」と声をかけながら新採対策グッズの配布を行いました。家路へ急ぐ新入社員は「ありがたい!」「ありがとうございます!」と元氣よく帰って行きました。この宣伝行動には、13日は静岡東部支部を

宣伝行動で新入社員に声をかける参加者 (4月20日)



中心に16人、20日は新幹線地本を含め27人の参加でした。今後、職場配属されませんが積極的に声をかけ組織拡大目標を達成できるように頑張ります。 (報告 池田組織部長)

ジェイ・アール・バス

ペーパー3000円の回答

夏季手当は昨年同様2・7カ月

ジェイ・アール・東海バス会社は4月27日、春闘要求に対する回答を行ってきました。

回答内容は、「基準内賃金を定期昇給とは別に300円引き上げる」(標準乗数は4)。「全

等級に300円を一律に加算する」。また、並行して交渉を行ってきた夏季手当については2・7カ月(昨年と同月数)です。国労は、3年連続のペーパー実施、夏季手当における会社が言う安定的支給ペース2・5カ月に0・2カ月の上積み自体は評価しつ

つも、国労要求とはかけ離れていることから不満とし、持ち帰り検討としました。後日、国労東海本部と自動車協議会など関係機関と議論を行ったうえで、組合員、社員の生活を考慮して妥結しました。

改革反対!」などを訴えました。終了後は、国鉄会館会議室で名古屋分会主催の昼食交流会に参加し、交流を深めました。連合労働運動下の形骸化されたメーデーでは無い真に労働者のための闘いの運動を強めようという決意したメーデーとなりました。

(報告 地本執行委員・大矢 憲孝)

(2面に続く)

「がん」の保障 <新生きるためのがん保険Days 新生きるためのがん保険Daysプラス>

項目	標準	Days	Daysプラス
診断金	100万円	10万円	10万円
入院金	10,000円	10,000円	10,000円
通院金	10,000円	20万円	20万円
手術金	20万円	20万円	20万円
放射線治療金	20万円	20万円	20万円
抗がん剤治療金	10万円	5万円	5万円

※詳しくは「契約概要」等をご覧ください。

＜募集代理店＞ アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822

＜引受保険会社＞アフラック 東京第二法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95

「生きる」を創る。Afiac

AF006-2016-0844 12月27日

静岡地本

(一面からの続き)

静岡中央メーデーは、静岡市駿府城公園で開催され全体で約300名、国労組合員(青年部も2人)、国労OBも含め20人参加しました。

主催者あいさつでは、安倍政権を市民と野党の共闘で退陣に追い込もう!、3000万署名で安倍9条改憲阻止し、1日8時間労働制を壊す「働かせ改革」阻止の運動を強化しようと呼びかけました。集会後、「安倍内閣は今すぐ退陣!」「憲法変えるな!政治を変えろ!」などを



静岡県中央メーデーでデモ行進の先頭を行く静岡地本の仲間(写真上)、東部(沼津・三島・田方)地区メーデー(写真下)

訴え静岡市内の繁華街でデモ行進を行いました。

静岡中部地区メーデーも静岡市常盤公園で開催され約150人、国労組合員・国労OBも15人が参加しました。その他、静岡県内9か所で開催され、沼津・富士・浜松など

の会場に国労組合員も多数参加しました。

各地とも、メーデー終了後、昼食を交え交流を深めるとともに、労働者の権利を守る闘いの先頭に立つて奮闘することを確認しました。(報告 地本書記長・植田誠)



パンフ「国労に入ろう」積極的な活用を

リニューアルされたパンフ「国労に入ろう」は、すでに東海本部の各機関へ届けられ、新採宣伝行動等でも活用されています。このパンフは、新人社員をはじめ、職場の中で多くの社員へ気軽に話しかけ、国労について知ってもらうためのツールとして作成されたものです。積極的な活用が望まれます。

働き方改悪を阻止しよう

市民・労働組合・野党らが参加して集会

の強行採決阻止を訴える集会(主催・日本労働弁護団)が22日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれ、5野党と幅広い労働組合、過労死家族、弁護士ら1800人(主催者発表)が参加しました。参加者は、「強行採決絶対反対!」のプラカードを厚生労働省へ向けて一斉に掲げ、法案反対を表明しました。

「1日24時間24日連続勤務も合法」「過労死ラインを超える月100時間未満残業も合法」という、「働き方改革」一括法案を狙う「働き方改革」一括法案



集会で「国民の命を奪う法律はつくらないで」と訴える全国の過労死を考える家族の会の人たちが

集会では、連合、全労連、全労協の代表が参加して高プロ導入を阻止する決意を表明。また、北海道、愛知、大阪、福岡から集会や宣伝を行う弁護士らと中継をつなぎ、法案阻止への決意と運動を交流しました。集会後、参加者は、「でたらめデータで法案を通すな」「雇用を壊すな 命を守れ」「安倍政権は今すぐ退陣」等とコールしてデモと国会請願を行いました。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障
+修理費用

※借家にお住まいの方のみ

みんなで暮らしをガード

交運共済 (JA職域生協)

全国交運運輸産業労働者共済生活協同組合

オプション保障(類焼損害費用保障、個人賠償責任保障、借家人賠償責任保障+修理費用)は、共済火災海上保険業を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。